

活動名	団体名	特定非営利活動法人 夢の広場ようこそ
「ようこそさかないち」～地域のだれもが集い賑わう朝市を～	地域	広島県広島市
	代表者	理事長 池岡 洋子
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>障害者施設の建設・誘致を目指して活動していることを地域に知ってもらうために、活動していることをより多くの方に知ってもらう活動である。 昔からあった「魚市」を復活させて、地域住民の結束感を高め、障害者理解をも深める場とした。活動の趣旨に賛同してくださる多くの方の協力、出店、出演を得て、盛大に行うことができた。</p>		
<p>◆実施時期 日時平成 24 年 5 月 27 日(日) 9:00-13:00 JR 井原市駅前広場 通称「夢の広場ようこそ」</p>		
<p>◆参加人数 ボランティア 20 名 出店協力 50 名 出演者 30 名 来場者 200 名</p>		
参加総人員:300 名		



テントは助成金で購入したもの。二張りのテントからはみ出るほどのフリマ商品の山！



ステージの合間に買い物をしたり、お茶を飲んだり…寛ぎの時間、なごみの場「さかないち」



ご当地ヒーロー、メープルカイザーも登場!!  
子どもたちも楽しんだ



メインイベントはジャズオーケストラの生演奏!!  
前列で歌う二人はスタッフのともちゃん、なおさん。  
ビッグバンドの音に負けじと声を張り上げる

## ◆実施に伴う効果

### ①障害者、その家族の立ち位置~交流の深まり

障害者(や、病者、高齢者)は、ただ支えてもらう、ケアしてもらっただけで事足りているわけではない。彼らなりに何か能動的に関わりたいと思っている。しかし現実には、ともすると、招待され、お客様扱いされてしまう。私たちの広場では、できるだけだれもが対等に付き合えるような運営を工夫している。それによって、健全な方が障害者との接し方を考え、普通につきあっていただけになってきた。

### ②活動と地域との関係性~協力関係の構築

地域にはいろいろな支援団体がある。「ようこそ」は支援団体に頼りきるのではなく、できるだけ自力でやりたいと考えやってきた。

「さかないち」という地域の昔ながらの行事をイベント化するにあたって、社協をはじめいろんな団体が動員等で協力をしてくださることになった。これをきっかけとして、その後も落語会等、ようこそ企画なら…と社協、自治連等、地域の有力な団体の協力を得られるようになってきている。今後も、頼りきるのではなく、協力していただけるよう、がんばっていききたいと思う。

### ③毎月実施する朝市、その拡大版としての「さかないち」だったが、おかげで地域、町内外に広く知っていただく機会となった。朝市への協力者や、その他の活動への参加者が少しずつだが増えてきている。また地域の方々の理解も確実に増してきていることを実感している。

## ◆苦勞した点

過去に5年間、「朝市」を続けているので、ある程度ノウハウがあり、イベントそのものの立ち上げには多くの苦勞はなかった。

ただし、今回は手に余る規模のイベントになってしまったため、人員不足を露呈してしまい、協力してくださる方たちに、迷惑をかけることが多々あった。

ボランティアをしてくださる方の多くが年配の方のため、事前の計画や段取りが十全でない、うまくいかなかったり、感情的な議論が現場でおきたりした。それぞれ上手に矛を収めて大人の対応をしていただいたが、準備段階でもっと細かなところまで詰める必要があったと猛省している。

300坪(1000m<sup>2</sup>)は広いと考えていたが、これだけの規模の会になると、手狭である。駐車場を外部に確保したとはいえ、来揚者の多くは車を近くに駐車しようとする。事故こそ起きなかったものの、かなりの混雑で不愉快な思いをされた方もあった。急きょ、駐車場係を配置するなど、応急処置だけが行った。

やってみないとわからなかったことが多々あって、現場の臨機応変な対応に委ねることも多く、こうしたイベントのプランニングや、実施者としてたくさんのスタッフに慣れて行ってもらえない部分もあった。これからも続けて経験を増すことで、いい「朝市」「さかないち」に成長させていきたい。

## ◆今後の課題・発展の方向性

### 継続

参加してくださる方からはたくさんの謝辞や労いのことばをかけていただいた。次年度への協力を約してくださる方もあった。継続していくためにどうするかが、今後の課題となっている。また、障害者の関わりをさらに増やしていくことで、より一層「ようこそ」が行う意味と意義があると考えられる。その点についても、前向きに取り組んでいきたい。

### 周知活動

チラシや新聞折り込みがどの程度効果があるのか、費用対効果に明確なものがないのが実情だが、多くはないものの、時々読んでいるという言葉をもらうことがある。また記録に残していくことで、メディアからの取材の際等に説明素材として使えることもある。「さかないち」の際には新聞折り込みを入れる範囲を拡大した。これは費用がかかるが、インターネットでのHPの作成等、これまでも課題としてきたことに取り組む必要を痛感する。

### 人材

継続のため、周知活動のために、新しい人材が必要だ。若い人(に限らないが)、新しい人との出会いの場をたくさん作ることを今後の課題の第一番におきたいと思う。

## ◆活動を終えての感想・意見等

丸5年の活動に一つの区切りをつけるべく、大がかりなイベントを組む年になりました。年初にマツダ財団様の助成金を申請し、4月には助成していただくことが決まって、励みになりました。ともすると書類を作るのさえ億劫で、現場の作業だけをできるならどれだけ楽か、などとも思いましたが、こうして1年を経してみると、支援いただいたお金で購入させてもらった「テント」2張りは、当日だけでなくその後も、絶大な威力を発揮してくれています。申し訳ないことに、テントにロゴをプリントするをしておりませんでした。今後、思いを同じくするみなさんへの情報提供として、マツダ財団様の援助によってテントが張れていることを示すカードを一緒につりさげたいと考えています。とても助かりました。

雨につけ、晴れにつけ、屋根があることはありがたいことです。

今後とも私どもの活動にご支援いただく機会がありますことを念願しております。

ありがとうございました。